

分担研究報告書

AYA支援チームのモデル作成に関する研究

研究分担者 多田羅 竜平 大阪市立総合医療センター緩和医療科部長

研究要旨: AYA 支援チームのモデル作成の一環として自院において多施設の医療者向けの学習会、カンファレンスを行い評価することで、このような場が AYA 世代へのケアや支援の在り方について学ぶ貴重な機会になっていることが見て取れた。

A. 研究目的

AYA支援チームのモデル作成の一環として自院において多施設の医療者向けの学習会、カンファレンスを行い評価する

B. 研究方法

年1回の小児緩和ケアチームカンファレンス（全国の小児緩和ケアチーム対象）、年3回の阪奈和小児がん治療施設協議会（大阪、奈良、和歌山の小児がん治療施設のスタッフ対象）、子どもサポートクラブ（院内外の医療者向け小児緩和ケア学習会）においてAYA世代がん患者の支援について協議、学習する機会を設け、アンケートで評価をおこなう。

C. 研究結果

AYA世代のがん患者に関わる医療者にとってAYA世代がん患者の支援に関して学ぶ機会は乏しく、多施設的なカンファレンスのニーズが高いことがわかった。

D. 考察

ほとんどの施設の医療者はAYA世代の患者に関わる機会が乏しく、自身の経験の積み重ねだけではスキル向上に限界があるのが現状である。多施設で集まって学習したり、事例を

検討したりする機会を設けることが必要であると思われた。

E. 結論

拠点となるAYA支援チームが中心となってAYA世代がん患者の支援に関する学習会やカンファレンスを開催することが望まれている。

F. 健康危険情報 該当なし

G. 研究発表 該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし

2. 実用新案 なし

3. その他 なし